

.....

館園名 : 芦東山先生記念館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1982 年 08 月 01 日

所在地

・ 〒 029 - 0521 岩手県東磐井郡大東町渋民伊勢堂 71

公式サイト

・ <http://>

設立主体

・ 個人（芦文八郎）

運営主体

・ 個人（芦文八郎）

設立目的

・ 芦東山・芦象の顕彰。

展示概要

・ 芦東山・芦象の資料を収蔵・展示。

活動概要

・ 資料の収蔵・展示のみ。入館料は無料のため、予算等も特になく、運営自体がボランティア的である。

延床面積

・ 151 m²

全職員数（常勤職員）

・ 3 名（ 年 月現在）

年間運営費

・ なし 円（2003年度）

総資料点数

・ 点（ 年 月現在）

施設その他

・ 建物は、仙台藩主伊達慶邦公宿泊のため建造されたもの。
・ 大東町立の「芦東山記念館」が三年後に開館予定。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・館の運営を家族で行う。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 3 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 1 名、女性：2 名
- ・ 平均年齢 82 歳：男性 85 歳、女性 80 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 3 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 運営全般。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

・ 年

◇活動人数

・ 名（ 年 月現在）

◇活動内容

・

◇活動日

・

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

・

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

・

◇研修（種類、内容、講師 等）

・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

・

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 岩手町石神の丘美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1993年07月02日

所在地

- ・ 〒028-4307 岩手県岩手郡岩手町五日市 10-121-21

公式サイト

- ・ <http://www.museum.ishigami-iwate.jp>

設立主体

- ・ 岩手町

運営主体

- ・ 株式会社岩手町ふるさと振興公社

設立目的

- ・ 東北・岩手を中心にすぐれた美術を紹介するほか、隣接の道の駅との連携をはかりながら「地元密着型」の文化・教育施設としても活動展開をしている。

展示概要

- ・ 齋藤忠誠、村上善男、柵山龍司など岩手ゆかりの代表的作家の作品をはじめ、平成14年度のリニューアル以降国内を中心にした版画（木版、銅板、リトグラフ、シルクスクリーン）のコレクションをはじめており、常設展の中で展開している。

活動概要

- ・ 国内でも主に岩手県にゆかりのある作家の作品に焦点をあてた企画展を中心としている。

延床面積

- ・ 645.77 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 3名（2005年1月現在）

年間運営費

- ・ 約40,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 約150点（2005年1月現在）

施設その他

- ・ 同施設内に道の駅「石神の丘」がある。
- ・ 美術を見るだけでなく体験できる場としても工房もあり。

2. ボランティア活動 名称:石神の丘美術館友の会内の有志によるボランティア活動

活動目的・経緯

- ・ 石神の丘美術館友の会は平成 14 年 11 月に設立され、交流活動、ボランティア活動を中心とした活動を展開している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 10 名（ 2005 年 1 月現在）
- ・ 男性： 5 名、女性： 5 名
- ・ 平均年齢 60 歳：男性 60 歳、女性 60 歳

ボランティア担当職員（ 2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：特になし
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 植栽のつどい。
- ・ 植樹のつどい。
- ・ 野外展示場の秋の落ち葉はき。
- ・ 友の会主催のコンサート等の準備、片付け等。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 特になし。

関連する出版物

- ・ 特になし。

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 特になし。

活動個別シート 活動名：

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 10～15 名（ 年 月現在）

◇活動内容

- ・ 美術館屋外展示場内の山野草や花の植栽や植樹のつどい、秋のシーズンの落葉はき等のボランティア活動。

◇活動日

- ・ 上記の行事の際に募集をし、活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 友の会会報をはじめ、町内回覧、美術館通信、HP での紹介、募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 将来的に展開したい。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 展覧会の無料招待。

◇評価

- ・ 今後検討していきたい。

◇課題と展望

- ・ 友の会メンバーが中心となっているが、活動及びメンバーが固定化しつつあるため新しい展開を行うのが今後の課題である。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 大船渡市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1982年07月15日

所在地

・〒022-0001 岩手県大船渡市末崎町字大浜 221-86

公式サイト

・<http://www.city.ofunato.iwate.jp/> →まなぶ→市立博物館へ

設立主体

・大船渡市

運営主体

・大船渡市教育委員会

設立目的

・大船渡の姿を大地の誕生から現在までを正しくとらえることで、郷土に対する意識を深め、同時に科学すること心を養いながら、ふるさとを愛し、共に手を携えて新しい郷土をつくっていかうという念願をもとに建設。

展示概要

・「大船渡その海と大地」を総合テーマに、地質・生物・考古・民俗・歴史の各分野から多面的に紹介。

活動概要

・岩手県南東部に位置する「気仙地域」の自然と文化を理解するために必要な資料の収集・調査。
・地質観察会等の自然観察、縄文土器製作会、小学校6年生を対象とした博物館スクールを実施。

延床面積

・2,058 m²

全職員数（常勤職員）

・4名（2004年4月現在）

年間運営費

・22,680,000円（2003年度）

総資料点数

・約15,000点（ 年 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・平成 6 年度縄文土器製作会参加者のなかから、縄文土器に興味を持つ人たちが集まり、自己の学習と社会奉仕を目的に、ボランティアとして土器の復元・彩色を行うようになった。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 3 名（2005 年 1 月現在）
- ・ 男性：1 名、女性：2 名
- ・ 平均年齢 62 歳：男性 65 歳、女性 60 歳

ボランティア担当職員（2005 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 土器の復元・彩色。
- ・ 縄文土器製作会補助。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①博物館ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1994 年

◇活動人数

- ・ 3 名（2005 年 1 月現在）

◇活動内容

- ・ 土器の復元・彩色。
- ・ 縄文土器製作委員会補助。

◇活動日

- ・ 月 2 回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 不足している消耗品を購入する程度で、予算は特に計上していない。
- ・ 未整理・工作室の一角を活動場所として提供。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 釜石市立鉄の歴史館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1985年07月20日

所在地

- ・ 〒026-0002 岩手県釜石市大平町3丁目12-7

公式サイト

- ・ <http://www.city.kamaishi.iwate.jp/rekishikan>

設立主体

- ・ 釜石市

運営主体

- ・

設立目的

- ・ 鉄と魚の町からの体質改善のため、新たに観光のまちづくりを進め、地域経済の復興を図ることとし、鉄の歴史館を建設した。

展示概要

- ・ 釜石は、南部藩主大島高任が築いた様式高炉により日本で初めて鉄鉱石の精錬に成功した地であり、当館には当時そのままに復元した原寸大模型を使い、映像によって往時の鉄づくりの様子を紹介する総合演出シアターがあります。又、鉄の文化や近代製鉄の道のり、鉄製品の変遷を紹介した資料を展示しております。

活動概要

- ・ 例年アルミ鋳造体験や餅鉄ひろいを実施している。
- ・ 鉄の記念日である12月1日に特別展を開催している。
- ・ 市内外の小学生を対象に総合学習として、展示解説をしている。

延床面積

- ・ 2,538.1㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 3名（2004年12月現在）

年間運営費

- ・ 41,000,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 1,842点（2004年12月現在）

施設その他

- ・ 施設の老朽化が進んでいるが、資金不足で見通しが立っていない。
- ・ 2005年度には指定管理者制度により、運営主体が代わる予定である。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 2001 年度に、団体客が長期に来館する計画が出始め、併せて専門の学芸員が不在だったことから、展示解説を行うボランティアガイド制を設けた。現在、定期的に活動してもらっている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 15 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性：10 名、女性：5 名
- ・ 平均年齢 60 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示解説。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

- ・ サイ太郎ニュース（月刊）

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 無。

活動個別シート ①常設展・企画展の展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 15名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展・企画展の展示解説。

◇活動日

- ・ 団体来客時（月に約5～8日）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 無。

◇運営（シフト 等）

- ・ 都合のつく人で、3～4名程度。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 無。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 資格：市在住。
- ・ 定年制なし。
- ・ 学職経験者に委任、選任。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 無。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 無。

◇評価

- ・ 無。

◇課題と展望

- ・ メンバーの活動内容が乏しいことから、新しい活動目標を組む必要がある。

◇その他

- ・ 当館は、「鉄の歴史館」ゆえ、最近、鉄の作り方を希望する者が増えている。

館園名 : 北上市立博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1973年04月25日

所在地

- ・ 〒024-0043 岩手県北上市立花14-59

公式サイト

- ・ <http://www.city.kitakami.iwate.jp/>

設立主体

- ・ 北上市

運営主体

- ・ 北上市

設立目的

- ・ 北上川と北上山地を中心とする地域の人びとの歴史、および北上市周辺の自然を学習する総合的な博物館として設置。

展示概要

- ・ 展示テーマは、「北上川とその流域に生きた人々」。
- ・ 歴史資料としては、国指定史跡樺山・八天遺跡の縄文時代出土資料、国指定史跡国見山廃寺出土資料、平安時代仏教関係資料、江戸時代の北上川舟運資料などがある。
- ・ 自然科学資料としては、北上周辺に生息する動物・鳥類の剥製の他、1000余種の蛾亜目標本を中心とする昆虫資料を数多く展示。
- ・ 民俗資料としては、農業史、生活史関係のコレクションが代表的。

活動概要

- ・ 常設展示、特別展示のほか、歴史探訪会、自然観察会、博物館教室、見学会、体験学習などを行っている。

延床面積

- ・ 1,158.85 m²

全職員数

- ・ 9名（正職員4名、臨時職員1名、研究職（非常勤）4名）

年間運営費

- ・ 79,466千円（2004年度当初予算。ただし正職員の人件費は除く）

総資料点数

- ・ 21,687点

その他

- ・ 附属野外施設として、起伏に富んだ地形を利用して歴史的建造物を移設し、展示しているみちのく民俗村（1992年開村）がある。

2. ボランティア活動 名称：みちのく民俗村ガイドボランティア

活動目的・経緯

- ・ みちのく民俗村において、施設の活性化を図ることを目的に、1991 年度からガイドボランティア制度を導入。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 21 名（2004 年）。
- ・ 男性：8 名、女性：13 名（2004 年）
- ・ 平均年齢 65 歳：男性 歳、女性 歳（2004 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：博物館職員 担当人数：常勤 1 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示の監視、②建造物の解説、③特別事業の実施。

活動その他

- ・ 定期的活動は、4 月中旬から 11 月中旬までの日曜、祝日が中心。
- ・ 4 月から 10 月までは、毎日 1 人は活動を行う。
- ・ 11 月以降は、希望があったときに事前に対応している。
- ・ みちのく民俗村まつり開催中は、都合のつく者全員が交替しながら活動する。
- ・ 博物館が、ボランティアの会に関する事務を全て行っている。
- ・ 1 日に 1～2 名ずつが業務を行う。
- ・ 各ボランティアは、ひと月に 1 度程度活動している。
- ・ 会議や研修など、集まる機会が年に 2～3 回ある。年 2 回（前期・後期）、活動計画等の打合せ会議を実施。
- ・ 市の広報で募集。
- ・ 業務開始時期の説明会、年度末の活動反省会、類似施設の見学会を行う。年 1 度、他施設のボランティア活動を視察研修している。
- ・ 建造物や地域の歴史についての研修はとくに行っていない。館が刊行した解説書などをテキストにした自己研修に任せている。
- ・ 市街地からかなり離れているため、交通費等の実費を含めて、1 日 2000 円程度支給される。
- ・ 展示棟のなかでは、解説のほかにも、湯茶の接待なども行っており、利用者に喜ばれている。
- ・ 市民の居住地区から離れているため、多くの制約がある。
- ・ 登録者の中に、殆ど参加をしない人がいる。
- ・ 個々の活動は充実してきているが、自主的な組織として盛り上げて行こうという意識が希薄。自分たちが会を運営していくのだという意識づけを図っていく必要がある。
- ・ 博物館スタッフが少なく、博物館と民俗村を同時に管理・運営していくことは困難。
- ・ ボランティアの研修体制を確立する必要がある。
- ・ 民俗村の体験工房、体験厨房、炭焼き小屋では、多彩な体験学習を実施することが可能。各建造物では体験宿泊も可能。ボランティアの協力を得て、事業を充実させることが可能。

関連する出版物

- ・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示の監視

◇活動開始年

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 21 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 展示資料の監視や、場内整理を行う。
※展示の監視については決まった活動内容の一環としては行っていない。

◇活動日

- ・

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②建造物の解説

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 21名(2004年)

◇活動内容

- ・ 利用者と対話しながら、民俗村全体および各建造物を説明する。
- ・ 古民家のなかで、湯茶の接待を行う。

◇活動日

- ・ 4月から11月。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア活動日として、1回の活動につき2,000円程度を支給。

◇運営(シフト 等)

- ・ 4月から10月までは、毎日1人は活動を行う。
- ・ 11月以降は、希望があったときに事前に対応している。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 年2回(前・後期)、活動計画等の打合せ会議を実施。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 市の広報誌にて募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 年1度、他施設のボランティア活動を視察研修している。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ 1日2,000円程度支給(交通費等として)

◇評価

- ・

◇課題と展望

・ 個々人の活動は充実してきているが、自主的な組織として盛り上げて行こうという意識が希薄。自分たちが会を運営していくのだという意識づけを図っていく必要がある。

◇その他

- ・

活動個別シート ③特別事業の実施

◇活動開始年

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 21 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ みちのく民俗村まつり開催中の2日間、受付案内を行う。

◇活動日

- ・ 9月下旬の土・日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 参加可能な会員全て。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 御所野縄文博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2002年04月27日

所在地

・ 〒028-5316 岩手県二戸郡一戸町岩館字御所野2

公式サイト

・ <http://www.town.ichinohe.iwate.jp/goshono/>

設立主体

・ 一戸町

運営主体

・ 一戸町教育委員会

設立目的

・ 埋蔵文化財の調査研究及びその資料の保管、展示活用等を行い、町民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に設置。

展示概要

・ 国指定史跡「御所野遺跡」を中心とした町内遺跡の出土遺物を収蔵。常設展示では、焼失住居、縄文時代の生活などテーマに沿って展示。

活動概要

・ 町内の文化財を中心に特別展を開催。
年数回、イベントを開催。
図録、年報などを発行。

延床面積

・ 2,695.24 m²

全職員数（常勤職員）

・ 10名（2004年12月現在）

年間運営費

・ 44,188,000円（2003年度）

総資料点数

・ 12,000点（2004年12月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：御所野遺跡を支える会

活動目的・経緯

- ・御所野遺跡のボランティア活動をとおして、郷土の歴史に誇りを持つとともに、御所野遺跡の文化財を正しく受け継ぎ、その歴史的事実と価値を学び伝え、文化財愛護の思想の普及に努めることを目的設置。平成12年4月から養成講座を開講、平成13年4月に正式に発足、現在に至る。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 38名（2004年12月現在）
- ・ 男性：20名、女性：18名
- ・ 平均年齢57歳：男性62歳、女性51歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：御所野縄文博物館
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 遺跡見学のガイド。
- ・ 清掃活動。
- ・ イベント等の補助スタッフ。
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 年に1度、総会を開催。
- ・ 遺跡ガイドだけでなく、館内展示案内も検討中。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://> 博物館と同じ

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①遺跡見学ガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 38 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 御所野遺跡を訪れる見学者の案内と解説。

◇活動日

- ・ 4~11 月の土、日、祝祭日。お盆の期間（8 月 13~16 日）、9:00~17:00 の間
そのほか、団体の予約状況に応じて活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 博物館内にボランティア室を設置。
ガイド業務の委託を受け、運営費は委託金で賄っている。

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 日 2 名体制。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 1 回、総会を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。月 1 回以上活動できることが条件。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修あり。
年 1 回、他遺跡の視察研修を行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 半日の活動に交通費 500 円を支給。
全員ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 主要メンバーが固定化してきているので、新規加入が求められる。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②清掃活動

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 38 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 御所野縄文公園内の清掃。

◇活動日

- ・ 春、秋、年 2 回実施。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 用具は博物館備品を使用。

◇運営（シフト 等）

- ・ 全員参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 1 回、総会を実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。月 1 回以上活動できることが条件。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修あり。
年 1 回、他遺跡の視察研修を行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 半日の活動に交通費 500 円を支給。
全員ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 特になし。

◇課題と展望

- ・ 主要メンバーが固定化してきているので、新規加入が求められる。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 萬鉄五郎記念美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1984年05月01日

所在地

- ・ 〒028-0114 岩手県和賀郡東和町土沢5区135

公式サイト

- ・ <http://www.yorozu-unet.jp>

設立主体

- ・ 東和町

運営主体

- ・ 教育委員会

設立目的

- ・ 日本近代美術の先駆者、萬鉄五郎の画業を顕彰するため、町民手づくりの記念館として設置。開館当初から、住民と美術館が一体となったコミュニティ・ミュージアム構想を推進している。
- ・ 1994年7月、萬鉄五郎記念美術館と改称。

展示概要

- ・ 萬鉄五郎の油彩・水彩・素描・水墨画などを、遺品や資料とともに展示・収蔵する。

活動概要

- ・ 企画展を年4回ほど開催。
- ・ 命日にあたる5月1日に、萬鉄五郎祭が行われる。
- ・ 別館「八丁土蔵 ハイビジョンミュージアム」では、萬の生涯や作品なそのハイビジョン番組を上映。

延床面積

- ・ 707 m² (ほかに別館土蔵 150 m²)

全職員数

- ・ 7人

年間運営費

- ・ 23,000千円 (平成16年度)

総資料点数

- ・ 5,000点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 清掃活動、館内看視に加えて、1993年にハイビジョン手作りソフト制作が開始された。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 140名（2004年）
- ・ 男性：50名、女性：90名（2004年）
- ・ 平均年齢60歳：男性63歳、女性58歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①清掃活動、②館内看視、③ソフト制作。

活動その他

- ・

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ なし

館外組織（NPO等）との連携

- ・ なし

活動個別シート ①清掃活動

◇活動開始年

- ・ 1984年

◇活動人数

- ・ 59名(2004年)

◇活動内容

- ・ 年1回ないし2回の清掃活動。美術館友の会による清掃が主。草刈り、美術館周辺の環境美化活動。

◇活動日

- ・ 決まっていない。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営(シフト 等)

- ・ 決まっていない。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 美術館の友の会「鉄人会」

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 会員の口コミ等による。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 美術館鑑賞研修を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

・

◇評価

- ・ 特にしていない。

◇課題と展望

- ・ 会員の高齢化により、館職員の負担も大きい。会員の若返りを計る必要がある。

◇その他

・

活動個別シート ②館内看視

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 79名 (年)

◇活動内容

- ・ 企画展覧会の展示室の看視ボランティア。

◇活動日

- ・ 企画展覧会の日程による。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 看視ボランティア個人の希望により、展覧会開催中に看視をする。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 79名ほどの地元の協力者で行っている。任期は決めていない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 美術館鑑賞研修、美術館講座等事業を開催。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 謝礼を出していないため、企画展に関する物を贈呈している。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 看視だけではなく、解説ボランティアもお願いしたいが、まだそのレベルまで達していない。
- ・ 解説となると、遠慮してしまうと思われる。
- ・ ボランティアに任せられるような組織ができると非常に助かる。

◇その他

- ・

活動個別シート ③ソフト制作

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 25 名 (1999 年)

◇活動内容

- ・ 町内の文化財をテーマとした独自のソフト（ハイビジョン手作りソフト）を毎年 1～2 本仕上げる。

◇活動日

- ・ 決まっていない。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算の削減のためなくなった。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・

◇評価

- ・ 萬と郷土の関係を来館者に伝える重要なメディアとなっている。

◇課題と展望

- ・ 予算を獲得し、またソフトの制作をできる環境にしたい。

◇その他

- ・